

分散登校 で始まった 2 学期

始業式は分散登校のため 2 回実施し、校内放送で行いました。

校長式辞

「東京オリンピック・パラリンピックが開催されたりした夏休みでしたが、皆さんにとってはどのような夏休みでしたか。大きな事故等がなく、生徒の皆さんや先生方がコロナ感染拡大に巻き込まれることなく 2 学期をスタートできることを何よりうれしく思います。今後もコロナにかからない、うつさない姿勢が求められています。皆さんはもし「自分は無症状だけれど感染しているかもしれない」という視点に立ったらどんなことを想像し、行動しますか。「人にうつさないための気遣いと行動を徹底しなければ」と考えるのではないかと思います。「警戒よりも気遣いなのかもしれません」

コロナ以外にもう一つ、皆さんに伝えたいことがあります。それは『門札』についてです。本校の学科はどれも人とかかわる分野を専門に学習しています。それらの学習の一番深いところには物事や人に対する感謝や謙虚な気持ちがあって、すべての学習はそこからスタートしているのではないかと思うからです。『門札』はまさしくそのような大切な事柄を行動に現わした姿です。門札をするときは立ち止まって門札をします。それは立ち止まっているその瞬間に自分の気持ちや思いが礼に込められているからです。「立ち止まって門札」によりマナー日本一の学校を目指したいのです。

終わりにもう一つ、目標に向かって見通しを持った生活を心掛けてください。一週間を一つの区切りとして生活の見通しを立ててみてはどうでしょう。今日頑張れた人に、良い明日が来ます。目標達成に向かって一日一日を大切に過ごしていきましょう。この 2 学期、コロナに負けないで、マナー日本一の学校を目指し、皆さん一人一人が充実した毎日を過ごすことを願って始業式の言葉とします。」 校長 肥田正和

「鹿児島県緊急事態宣言」の発令及び「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受け、本校では 2 学期始業から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、分散登校を実施し生徒の学校生活や職員へ感染防止を徹底したところです。生徒保護者の皆様にはご理解とご協力をいただきまして、あらためて感謝申し上げます。おかげをもちまして、**感染者の発生もなく、落ち着いた学校生活がスタートしていますことを伝えさせていただきます**

分散登校での授業の様子

**就職・進学へ向けた出陣式**

3 年生の進路決定が本格化する 2 学期、医療福祉科・イングトクリエイト科の生徒の皆さんはコロナ禍に負けず、自分の第一志望実現へ頑張っています。

～代表の決意～

「私たち 3 年生は 7 月頃から本格的に就職活動を開始し、毎日進路指導室で求人票を参考に就職先を検討して来ました。また長期休みには、企業見学に行く日程を先生と相談し実際に伺い進路選択への参考にし、さらに先輩方の就職試験報告書を参考に面接試験への準備を進めてきました。しかし、このコロナ禍で私たちを取り巻く就職環境も、例年とは違い戸惑うことも多いです。今は友人同士で面接練習をしたり、関係の先生方に相談しながらクラスの仲間で互いが励みながら、合格内定を頂けるように頑張っています。これまで指導いただいた先生方へ晴れて進路が決まった報告ができるよう、就職試験に全力で臨みたい。」 医療福祉科 3 年脇田俊

「私は高校一年の時から進学をしようと考えていましたが、その進路について真剣に考え始めたのは二年の夏からです。専門学校オープンキャンパスに参加したり、資料請求したりして、自分の目指す将来の自分に近づくためには、どの学校が自分には合っているのかを見極める必要があると考えました。そして先生方や進学した先輩方に相談するなどして、三年の 5 月の三者面談で“夢を叶えたい”と強く思える学校を選択しました。私の受験する専門学校は 10 月の上旬に願書を提出し、下旬には試験があります。それまでに面接練習や筆記試験対策をしっかり行い、試験に備えていきたいです。これまでの福祉の学びや実習を通し、“叶えたい夢”の思いがより強くなりました。なりたい自分になるためにも、第一志望の学校に合格できるように頑張りたい。」医療福祉科 3 年田中歩佳

「私たちは今、コロナ禍で普通の生活を送ることが困難な日々が続いています。楽しみにしていた体育祭などの学校行事も中止になったり、自宅待機から一日中家で過ごしたり、進路のことでも県外の企業や学校を受験する仲間もいて、コロナの影響から様々な制限があり正直この先どうなるのか不安の方が大きいです。しかし私たちには進路へ向け指導いただいた先生方や、いつもそばで支えてくれる

保護者、そして受験先はそれぞれ違えど一緒に進路試験に挑む仲間がいます。クラス目標でもある『志～ステップアップ～』通り、自分たちの夢や目標へのステップアップのために、これまで取り組んできた努力を信じ、応援してくれる方々へ笑顔で報告できるよう、志高く、精一杯試験に臨みます。」イングトクリエイト科 3 年上須田楓

